

2019年室内環境学会学術大会 優秀ポスター賞 受賞の言葉

P-08 フタル酸エステル類の加熱脱離法および溶媒抽出法の比較検討

田原麻衣子<sup>1)</sup>, 高木規峰野<sup>1)</sup>, 田中礼子<sup>2)</sup>, 村木沙織<sup>2)</sup>, 大貫文<sup>3)</sup>, 斎藤育江<sup>3)</sup>,  
千葉真弘<sup>4)</sup>, 大泉詩織<sup>4)</sup>, 酒井信夫<sup>1)</sup>, 五十嵐良明<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>2)</sup>横浜市衛生研究所,  
<sup>3)</sup>東京都健康安全研究センター, <sup>4)</sup>北海道立衛生研究所

このたび、室内環境学会2019年沖縄大会で発表いたしました“フタル酸エステル類の加熱脱離法および溶媒抽出法の比較検討”にて優秀ポスター賞を賜りましたこと、誠に身に余る光栄でございます。室内環境学会事務局の皆様、本研究の遂行にご指導ご鞭撻を賜りました先生方に心より御礼申し上げます。

厚生労働省のシックハウス（室内空気汚染）問題に関する検討会では、室内濃度指針値の見直し作業を行っておりますが、指針値の改定候補物質もしくは新規策定候補物質については詳細な曝露評価が必要であり、そのためには標準試験法の整備が求められています。このような背景から、我々は、室内濃度指針値の改定候補物質もしくは新規策定候補物質について、測定方法を開発して妥当性評価を行っております。本発表で検討したフタル酸エステル類の固相吸着-溶媒抽出-ガスクロマトグラフィー/質量分析法および固相吸着-加熱脱離-ガスクロマトグラフィー/質量分析法についても、今後、標準試験法として確立し、現行の「室内空气中化学物質の測定マニュアル」の改訂文書としてご報告したいと考えております。

今回の思いがけない受賞は私にとって大きな励みになり、これからも室内環境における分析技術の発展のため、一層の努力を致す所存でございます。今度ともご指導よろしくお願い申し上げます。

最後ではございますが、室内環境学会および会員の皆様のみますのご発展をお祈りいたします。

受賞者一同を代表いたしまして、心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

……著者データとプロフィール……



田原麻衣子（たはら・まいこ）

国立医薬品食品衛生研究所  
生活衛生化学部  
主任研究官，博士（薬学）  
210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26  
電話：044-270-6550  
e-mail：tahara@nihs.go.jp